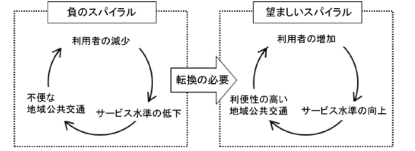


甲府市における地域公共交通の利用促進策の展開について①

本市の地域公共交通を取り巻く現状

- 自立した生活を営む上で「移動」は欠かせないものであるが、近年のモータリゼーションの進展や人口減少、少子高齢化など、地域公共交通を取り巻く状況は厳しさを増している。
- 地域公共交通ネットワークの縮小やサービス水準の一層の低下が、更に地域公共交通利用者を減少させることになるなど、「負のスパイラル」に陥っている状況となっている。



地域公共交通による多様な効果

- 地域公共交通の維持・改善は、交通分野に留まらず、健康、環境、観光など、他分野での多様な効果が期待できる。

健康的な生活の実現

- 消費カロリーの増加による健康増進
➡ 手軽な健康生活の実現

環境への負担軽減

- 排出される二酸化炭素の量の軽減
➡ 環境に優しい社会の実現

費用負担の軽減化

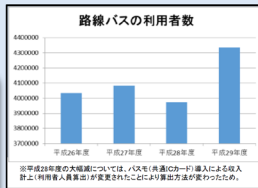
- 車検などの維持費の節約
➡ レジャーなどの有効活用が可能

持続可能な地域公共交通の形成へ

- 自家用車に過度に依存する状態から、公共交通や徒歩等の多様な交通手段を適切に利用する状態へと少しずつ変えていく取組(モビリティ・マネジメント)を積極的に展開している。

【モビリティ・マネジメントの取組内容(平成29年度)】

- ・本市ホームページでの地域公共交通に関する記述の充実
- ・バス事業者と連携し作成したポスター・チラシによる公共交通利用の周知
- ・市職員を対象とした「こうふエコ通勤デー」制度の創設
- ・自治会への公共交通勉強会の実施
- ・サイクル・アンド・ライド駐輪場の創設
- ・高校進学を控えた中学3年生に対するリーフレットの配布
- ・市内を5つのエリアに分けた全国的にも珍しいバスマップの作成
- ・観光課が主催した「スタンプラリー」企画と運動して「路線バス」の利用を促進
- ・中心街で開催している「第二土曜日」での公共交通利用者に対するサービスの実施
- ・商店街と一体となったバス事業者が実施する「100円バス」の周知



持続可能な地域公共交通を目指して

【モビリティ・マネジメントの取組内容(平成30年度)】

- ・平成29年度に作成したバスマップの全戸配布
- ・「甲府市バス・鉄道乗る乗るレジャー」制度の創設
- ・バスの乗り方動画の制作・公表
- ・本市(本庁舎)のエコ通勤優良事業所への認定
- ・「こうふエコ通勤デー」参加協力事業所制度の創設
- ・「バスの絵」作品募集等

■ 網形成計画の作成

持続可能な公共交通網を形成するための方策を取りまとめた、「甲府市地域公共交通網形成計画」を平成31年3月に策定。

令和元年度を初年度に、前期3年、後期3年の6ヵ年計画とし、特に、計画期間前半の3ヵ年は、利用促進策をはじめ、利便性の向上に資する施策を重点的に推進することにより好循環を創出し、持続可能な公共交通網の形成に努める。

甲府市における地域公共交通の利用促進策の展開について②

平成29年度における主な取組内容

心理学理論を応用しポスター・チラシ作成

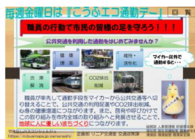
- ・本市が取り組んでいる「公共交通を未来に残そう」運動を市民の皆様知ってもらうために作成。
- ・作成・印刷に当たっては、バス事業者と役割分担を実施。



事業費0円

地域の足を守る取組の実施

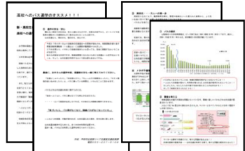
- ・市民の皆様足を守るべく、市職員が率先して通勤手段を公共交通へと切り替える取組を実施。
- ・平成30年度は公共交通の利用者増。(8.97%【H29】⇒10.73%【H30】)



事業費0円

ターゲットを絞る形での展開

- ・高校に進学する市内(私立を含む)全中学3年生に対し、通学手段として公共交通(とりわけ路線バス)を活用することでの多様な効果があることを情報発信。



事業費0円

5つのエリアに分けたバスマップの作成

- ・各エリアの路線バスに関する詳細な情報を掲載することで、そのエリアにお住まいの方がその地域での買い物や通院などで路線バスを利用しやすく工夫。



事業費1,500千円

平成30年度における主な取組内容

レジャー制度の創設

- ・レジャーの持つ情報発信力を通じ、本市の公共交通に関する施策などを市内外に発信していただき、自家用車の利用を控え、適度に公共交通を利用する行動の普及させることを目的に創設。(全国初の取組)



事業費0円

「バスの乗り方」動画の放映

- ・山梨県調査では、バスに乗らない理由として「バスの乗り方が分からない」ことが一番の理由となっていることから、動画を制作。順調に閲覧数は増加。(全国的に例が見られない取組)



事業費324千円

市内の事業所にエコ通勤を促進

- ・本市(本庁舎)のエコ通勤の取組が評価を受け、エコ通勤優良事業所として認定。この取組の裾野を広げるべく、制度を創設。
- ・4社の申請があり、平成30年10月5日に認定証を交付。



事業費0円

バス車内を美術館化

- ・応募作品は、山梨交通(株)の路線バス車両(1台)に全て展示(全国初の取組)し、平成30年9月29日から11月4日の間、運行。
- ・開催したお披露目会では180人が来場。



事業費0円